



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 東洋水産株式会社

コード番号 2875 URL <https://www.maruchan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今村 将也

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 松本 千代子 TEL 03-3458-5246

四半期報告書提出予定日 2019年8月13日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	97,758	1.0	5,824	△10.2	6,727	△6.6	4,761	△6.8
2019年3月期第1四半期	96,749	3.8	6,485	1.4	7,207	3.9	5,107	10.0

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 790百万円 (△92.0%) 2019年3月期第1四半期 9,897百万円 (80.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	46.63	ー
2019年3月期第1四半期	50.01	ー

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	382,191	304,358	76.7
2019年3月期	390,190	307,729	76.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 293,236百万円 2019年3月期 296,638百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	ー	30.00	ー	40.00	70.00
2020年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
2020年3月期(予想)	ー	40.00	ー	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	204,000	3.8	12,000	3.7	13,200	4.2	9,500	11.4	93.02
通期	420,000	4.7	27,000	14.1	29,500	12.7	21,000	13.9	205.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	110,881,044株	2019年3月期	110,881,044株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	8,752,341株	2019年3月期	8,752,148株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	102,128,706株	2019年3月期1Q	102,129,146株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産の弱さが続いているものの、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調で推移しましたが、通商問題の動向が世界経済に与える影響や海外経済の不確実性、金融資本市場の変動により景気が下振れするリスクも依然として存在しております。

このような状況の中、当社グループは「Smiles for All. すべては、笑顔のために。」という企業スローガンの下で「食を通じて社会に貢献する」「お客様に安全で安心な食品とサービスを提供する」ことを責務と考え取り組むとともに、厳しい販売競争に対応するため、より一層のコスト削減並びに積極的な営業活動を推進してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は97,758百万円（前年同四半期比1.0%増）、営業利益は5,824百万円（前年同四半期比10.2%減）、経常利益は6,727百万円（前年同四半期比6.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,761百万円（前年同四半期比6.8%減）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の為替換算レートは、107.75円/米ドル（前第1四半期連結累計期間は、110.45円/米ドル）であります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

水産食品事業は、主力商品の鮭鱒・魚卵等における市況変動の影響や国内外の近海魚の漁獲不良による魚価高騰が見られる中、コンビニエンスストアや量販店向けに適正価格での販売に努めましたが、競争の激化もあり販売数量が減少しました。その結果、売上高は7,396百万円（前年同四半期比6.0%減）、セグメント利益は20百万円（前年同四半期比78.8%減）となりました。

海外即席麺事業は、米国では大手得意先の店舗毎に実施した特売、新学期セールに向けた受注増加により、主力商品の袋麺「Ramen」シリーズ、カップ麺「Instant Lunch」シリーズ、「Bow1」シリーズが前年を上回り、増収となりました。メキシコでは主力商品のカップ麺、販売を強化している袋麺が好調に推移し、増収となりました。その結果、売上高は19,761百万円（前年同四半期比4.1%増）、セグメント利益は、原材料費や人件費の増加はありましたが、販売数量の増加、販促費・物流費の抑制等により2,624百万円（前年同四半期比11.6%増）となりました。

国内即席麺事業は、生産・供給コストが上昇する中で、お客様にご満足いただける品質の商品を安定的にお届けするため、2019年6月より価格改定を実施いたしました。そのような状況の中、カップ麺では「赤いきつねうどん」「緑のたぬき天そば」等の和風シリーズに加え、新商品を発売した「MARUCHAN QTTA」シリーズや「ごつ盛り」シリーズの拡販に努めました。また「マルちゃん正麺 カップ」シリーズでは湯切りタイプの新商品3品が大きく上乗せとなり、カップ麺全体で増収となりました。袋麺では「マルちゃん正麺」シリーズで様々なプロモーションを実施し需要喚起に努めましたが、減収となりました。その結果、売上高は29,356百万円（前年同四半期比1.2%増）、セグメント利益は、物流費・原材料費等の増加により1,417百万円（前年同四半期比12.0%減）となりました。

低温食品事業は、生産・供給コストが上昇する中で、お客様にご満足いただける品質の商品を安定的にお届けするため、2019年4月より価格改定を実施いたしました。そのような状況の中、生麺では期間限定商品の発売や消費者キャンペーン等を実施した「マルちゃん焼そば3人前」シリーズが堅調に推移したことに加え、今期から全国に販売エリアを拡大した水でほぐすだけの「つるやか」シリーズ、野菜がおいしく食べられる「パリパリ無限」シリーズが大きく伸ばしたことにより販売数量、金額ともに前年を上回りました。チルド・冷凍食品類では主力商品のしゅうまいやワンタンは減収となりましたが、市販用の「冷凍麺焼そば」等が好調に推移しました。その結果、売上高は18,537百万円（前年同四半期比3.3%増）、セグメント利益は、物流費の増加等はありませんでしたが、売上増により1,443百万円（前年同四半期比6.7%増）となりました。

加工食品事業は、米飯やフリーズドライ商品では市場拡大を捉えるべく生産能力の向上に努めております。2018年夏に新ラインが稼働した無菌米飯では「あったかごはん」シリーズ、フリーズドライ商品では5食入り袋スープ「素材のチカラ」シリーズ等を中心に、新商品の発売や新生活応援等の販促企画を実施しましたが、減収となりました。その結果、売上高は5,241百万円（前年同四半期比0.5%減）、セグメント損失は、新工場稼働に伴う減価償却費等の増加により318百万円（前年同四半期はセグメント損失121百万円）となりました。

冷蔵事業は、2019年1月に埼玉杉戸物流センター及び神戸物流センターの稼働開始により庫容量が増加したことに加え、新規顧客の保管品、通関・運送等の付帯業務の取扱いが堅調に推移しました。その結果、売上高は5,020百万円（前年同四半期比9.6%増）、セグメント利益は、新冷蔵庫稼働に伴う減価償却費・人件費等の増加により337百万円（前年同四半期比44.5%減）となりました。

その他は、主に弁当・惣菜事業であります。売上高は12,444百万円（前年同四半期比4.9%減）、セグメント利益は448百万円（前年同四半期比32.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比べ総資産は7,999百万円減少し382,191百万円、純資産は3,370百万円減少し304,358百万円となりました。この主な変動要因は、以下のとおりであります。

資産は、主に現金及び預金は増加しましたが、有価証券、投資有価証券が減少しました。負債は、主に未払費用、未払法人税等が減少しました。純資産は、主にその他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定が減少しました。

この結果、自己資本比率は76.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に関する事項につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績が想定していた範囲内で推移しているため、2019年5月10日に発表しました見通しを変更しておりません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	86,280	87,912
受取手形及び売掛金	54,432	53,614
有価証券	32,000	25,000
商品及び製品	19,168	19,379
仕掛品	332	351
原材料及び貯蔵品	6,722	7,115
その他	4,990	5,020
貸倒引当金	△628	△664
流動資産合計	203,298	197,731
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	71,773	71,679
機械装置及び運搬具(純額)	35,599	34,773
土地	35,622	35,535
リース資産(純額)	2,707	2,632
建設仮勘定	5,722	6,225
その他(純額)	1,350	1,299
有形固定資産合計	152,776	152,147
無形固定資産		
その他	1,604	1,508
無形固定資産合計	1,604	1,508
投資その他の資産		
投資有価証券	30,409	28,752
繰延税金資産	1,165	1,135
退職給付に係る資産	75	70
その他	860	844
投資その他の資産合計	32,511	30,803
固定資産合計	186,891	184,460
資産合計	390,190	382,191

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,320	25,426
短期借入金	644	327
リース債務	254	259
未払費用	21,111	18,976
未払法人税等	1,909	930
役員賞与引当金	74	27
その他	3,555	3,451
流動負債合計	53,870	49,398
固定負債		
リース債務	3,664	3,627
繰延税金負債	3,476	3,444
役員退職慰労引当金	302	304
退職給付に係る負債	18,899	18,896
関係会社事業損失引当金	28	—
資産除去債務	216	211
その他	2,002	1,949
固定負債合計	28,590	28,434
負債合計	82,461	77,833
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,969	18,969
資本剰余金	22,942	22,942
利益剰余金	252,891	253,568
自己株式	△8,228	△8,229
株主資本合計	286,574	287,250
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,853	8,698
繰延ヘッジ損益	△1	△19
為替換算調整勘定	2,054	△864
退職給付に係る調整累計額	△1,843	△1,828
その他の包括利益累計額合計	10,063	5,985
非支配株主持分	11,090	11,121
純資産合計	307,729	304,358
負債純資産合計	390,190	382,191

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	96,749	97,758
売上原価	61,004	62,513
売上総利益	35,744	35,244
販売費及び一般管理費	29,258	29,420
営業利益	6,485	5,824
営業外収益		
受取利息	346	523
受取配当金	234	242
持分法による投資利益	47	28
雑収入	227	252
営業外収益合計	855	1,047
営業外費用		
支払利息	63	62
雑損失	71	81
営業外費用合計	134	143
経常利益	7,207	6,727
特別利益		
固定資産売却益	7	0
補助金収入	93	92
その他	—	19
特別利益合計	100	113
特別損失		
固定資産除売却損	14	118
災害による損失	32	—
その他	—	18
特別損失合計	47	137
税金等調整前四半期純利益	7,260	6,704
法人税、住民税及び事業税	1,557	1,376
法人税等調整額	476	453
法人税等合計	2,033	1,829
四半期純利益	5,226	4,874
非支配株主に帰属する四半期純利益	119	112
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,107	4,761



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	5,226	4,874
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,034	△1,171
繰延ヘッジ損益	44	△18
為替換算調整勘定	3,551	△2,919
退職給付に係る調整額	48	20
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	5
その他の包括利益合計	4,671	△4,084
四半期包括利益	9,897	790
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,827	684
非支配株主に係る四半期包括利益	70	105

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結財務 諸表 計上額 (注) 3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
外部顧客への売上高	7,865	18,976	29,021	17,946	5,267	4,582	83,660	13,088	96,749	-	96,749
セグメント間の内部 売上高又は振替高	229	-	-	-	-	269	499	22	522	△522	-
計	8,095	18,976	29,021	17,946	5,267	4,852	84,160	13,110	97,271	△522	96,749
セグメント利益 又は損失(△)	97	2,352	1,610	1,352	△121	608	5,899	663	6,562	△76	6,485

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△76百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△297百万円、棚卸資産の調整額96百万円及びその他の調整額124百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に海外子会社からのノウハウ料の相殺消去額であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結財務 諸表 計上額 (注) 3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
外部顧客への売上高	7,396	19,761	29,356	18,537	5,241	5,020	85,314	12,444	97,758	-	97,758
セグメント間の内部 売上高又は振替高	226	-	-	-	-	284	511	21	533	△533	-
計	7,623	19,761	29,356	18,537	5,241	5,305	85,825	12,466	98,291	△533	97,758
セグメント利益 又は損失(△)	20	2,624	1,417	1,443	△318	337	5,525	448	5,973	△149	5,824

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△149百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△290百万円、棚卸資産の調整額21百万円及びその他の調整額119百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に海外子会社からのノウハウ料の相殺消去額であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。